

2023年8月3日

BMW グループ、好調な上半期により通期見通しを上方修正

2023年の販売目標の引き上げ、自動車部門の EBIT マージンの上昇

上半期のグループ EBT マージンは 12.6% に上昇

上半期の自動車部門の EBIT マージンは 10.6%

自動車部門の年初来 6 月までの累計フリー・キャッシュ・フローは 31 億ユーロ

BMW の完全電気自動車の販売台数が 133% 増

ツィプセ「変革期の経済的成功」

ミュンヘン発：BMW グループは、2023 年上半期の厳しい環境下で、力強い財務実績および営業実績を達成した。プレミアム・カー・メーカーである BMW は 1～6 月期において、グループの EBT マージン 12.6%、自動車部門の EBIT マージン 10.6% を達成した。第 2 四半期のグループ EBT マージンは 11.3%（2022 年第 2 四半期：11.3%）。自動車部門の EBIT マージンは 9.2% に上昇した（2022 年第 2 四半期：8.2%）。

以前に特別公告でも報告したとおり、当社は現在、2023 年通年で納車台数の堅調な伸びを計画している（以前は微増）。成長の原動力となるのは、高価格モデルと完全電気自動車である。BEV モデルは全自動車販売台数の 15% を占めると見込まれる。自動車部門の EBIT マージンは 9～10.5%（以前は 8～10%）の範囲内に収まる見通しである。

「すべての駆動技術において、強力な製品は強力な需要を生み出します。第 2 四半期は、私たちが提供する幅広い技術が、いかに顧客の支持を得ているかを明確に示すものとなりました。高効率の内燃機関を搭載した車両の売上が、堅牢な基盤を作っています。そして強力な成長源となっているのが、完全電気自動車の著しい需要増です。私たちは、組織的変革と経済的成功の両方を実現しています。同時に、将来を見据え、集中力と決断力をもって会社の体制を整えつつ、高い収益性も維持しているのです。」と、BMW AG 取締役会長のオリバー・ツィプセは語った。

人気の高いプレミアム・カーを擁する BMW グループにとって、今年上半期、多くの自動車市場の好調な勢いは追い風となった。顧客への納車台数は合計 1,214,864 台（2022 年：1,160,094 台／4.7% 増）。同期間に販売された電動化モデルの台数は 245,468 台と大幅に増加した（2022 年：184,468 台／33.1% 増）。完全電気自動車（BEV）の納車台数は 152,936 台と倍増（2022 年：75,890 台／101.5% 増）。したがって、上半期の販売台数に占める BEV の割合は 12.6% であり（2022 年：6.5%／93.8% 増）、第 2 四半期は 14.1% となった。

今年 10 月の、新型 i5* の発売をもって、BMW グループは主要なモデル・レンジと 3 つのプレミアム・ブランドすべてにおいて、少なくとも 1 つの完全電気自動車をラインナップすることになる。2024 年までには、当社の新車の少なくとも 5 台に 1 台が BEV になり、2025 年までには 4 台に 1 台となるはずだ。

BMW ブランド、世界のプレミアム・セグメントで再び首位に

上半期に合計 1,071,326 台を顧客に納車した BMW グループは、前年同期比 5.4%増という堅調な販売台数を記録し、第 2 四半期の販売台数も大幅増となった（2022 年上半期：1,016,228 台、2023 年第 2 四半期：553,369 台、2022 年第 2 四半期：496,432 台／11.5%増）。強力なブランド力と若く魅力的な製品ラインナップにより、BMW は上半期、世界のプレミアム・セグメントで首位に振り返った。

BMW ブランドの販売台数の伸びに大きく貢献したのが、完全電気自動車である。合計 133,927 台の電気自動車が顧客に納車され、BEV 販売台数は再び、前年同期比 2 倍以上を記録した（133.1%増）。最も需要の高い BEV モデルは BMW i4*、BMW iX3*、BMW iX*、そして完全電気自動車の 3 シリーズ・セダン BMW i3* である。新たに導入された BMW iX1* は、発売後わずか数カ月で急勾配の需要曲線を達成した。ハイエンド・モデルの 7 シリーズ、改良新型 BMW X7、BMW X5 と X6 の SUV も、販売台数の伸びを牽引。

BMW グループは、2023 年 10 月の新型 BMW 5 シリーズの市場投入、特に完全電気自動車 BMW i5 の発売により、下半期もさらなる勢いが続くと思込んでいる。ドイツ初の自動車メーカーである BMW グループは、新型 BMW 5 シリーズで、ドイツの高速道路で許可されている時速 130km までの部分自動運転システムを初めて提供する。このハイウェイ・アシスタントにより、ドライバーは運転中にステアリング・ホイールから手を離すことができる。

MINI、第 2 四半期の大幅な売上増を記録

MINI ブランドの 2023 年第 2 四半期における顧客への納車台数は 71,816 台で、前年同期比 10.2%増となった（2023 年上半期：140,357 台、2022 年上半期：140,675 台／0.2%減）。同期間中、BMW ブランドの完全電気自動車の販売台数は 8.8%増の伸びを記録した。昨年以来、BMW ブランドで最も人気のあるモデルは、完全電気自動車の MINI Cooper SE* である。MINI の製品ラインナップには、初の完全電気自動車である MINI Cooper SE Convertible も含まれる。

ロールス・ロイス・モーター・カーズは、2023 年上半期に 3,181 台（0.3%減）の販売台数を記録した。同期間中、WRAITH と DAWN の両モデルの生産は段階的に中止され、販売台数は前年並みにとどまった。高い人気を誇る完全電気自動車クーペ、ロールス・ロイス SPECTRE の最初の納車は、2023 年第 4 四半期に開始される。

BMW グループ、世界の主要 3 地域で売上増

世界の主要 3 地域（欧州、米州、アジア）において、BMW グループの上半期 6 カ月間の販売台数は微増であった。低迷した前年同期に比べ、各プレミアム・ブランドは第 2 四半期に大幅な増益を達成したケースもあった。米州地域と米国は 2 桁台の成長率を記録（2023 年上半期：米州：225,645 台／10.2%増、米国：186,122 台／12.5%増、2023 年第 2 四半期：米州：117,790 台／11.5%増、米国：95,948 台／13.6%増）。

欧州では、上半期の販売台数はわずかに増加して 449,264 台となった（2022 年上半期：434,235 台／3.5%増）。第 2 四半期は 232,994 台と堅調な伸びで終了（2022 年第 2 四半期：213,842 台／9.0%増）。

アジアでは、上半期の売上高は微増であり、プレミアム・カーの納車台数は合計 513,169 台であった（2022 年上半期：495,559 台／3.6%増）。中国での販売台数も 393,261 台と微増（2022 上半期：379,524 台／

3.6%増）。これは、第 1 四半期にはまだコロナウイルスの大流行による影響が残っていたためである。第 2

四半期には、中国での顧客への納車台数は198,161台と大幅に増加した（2022年第2四半期：170,571台／16.2%増）。アジア地域も売上を大幅に伸ばし、販売台数は261,242台に達した（2022年第2四半期：230,494台／13.3%増）。

前年度のBBAの完全連結が比較基準に影響

2023年上半期までに、BBAの業績は完全かつ一律に組み込まれた。前年同期では、この対象となるのは2022年2月11日以降のみであった。前年との比較ではこの件を考慮する必要がある。

BBAの完全連結に伴い、グループ利益は前年同期比で大幅に増加

グループ利益は上半期に740億7,200万ユーロと大幅に増加し（2022年上半期：659億1,200万ユーロ／12.4%増）、第2四半期は堅調な伸びで372億1,900万ユーロとなった（2022年第2四半期：347億7,000万ユーロ／7.0%増）。BMW Brilliance Automotive Ltd. (BBA)の事業を自動車部門に完全統合したことに加え、販売台数の増加、製品ミックスの効果も収益増に貢献した。BMWグループは、新車および中古車市場における堅調な価格設定からも引き続き恩恵を受けた。為替換算の影響による逆風、製造コストの上昇、原材料費の上昇が、すべて売上原価の上昇に寄与している。

上半期のグループ研究開発費は総額33億9600万ユーロとなり（2022年上半期：29億4200万ユーロ／15.4%増、2023年第2四半期：18億4200万ユーロ、2022年第2四半期：15億5100万ユーロ／18.8%増）、前年同期を大幅に上回った。支出は主に、車両のさらなる電動化とデジタル化、そして自動運転に集中した。

研究開発費の割合（ドイツ商法に基づく）は上半期で4.6%（2022年度上半期：4.5%）、第2四半期で4.9%であった（2022年第2四半期：4.5%）。

BMWグループの資本支出は32億3,100万ユーロと大幅に増加した（2022年度上半期：29億2,900万ユーロ／10.3%増）。第2四半期の資本支出は19億300万ユーロで、電動化の加速とデジタル化関連に重点が置かれた（2022年：10億9,800万ユーロ／20.9%増）。

上半期の設備投資比率は4.4%であり（2022年度上半期：4.4%）、第2四半期は5.1%であった（2022年第2四半期：5.3%）。同年の同比率は6%前後になると予想される。

財務成績およびグループ利益の低下は前年度の一時的な影響を反映

BBAの完全連結による一時的な影響により（主に、以前保有していた株式の再評価による77億ユーロの一過性の利益）、BMWグループの財務成績、グループ利益、グループ純利益はすべて、2022年上半期に大幅に増加した。このベース効果により、2023年上半期の主要数値は大幅に低下している。その結果、報告期間における財務成績は3億6,700万ユーロ減となった（2022年：93億3,900万ユーロ）。

上半期のグループ税引前利益（EBT）は合計93億5,100万ユーロであったものの（2022年上半期：161億5,600万ユーロ／42.1%減）、第2四半期は42億2,200万ユーロと堅調な伸びを示した（2022年第2四半期：39億2,900万ユーロ／7.5%増）。2023年上半期のグループEBTマージンは12.6%（2022年上半期：24.5%）、第2四半期は11.3%であった（2022年第2四半期：11.3%）。グループ純利益は66億2,000

万ユーロとなった（2022年：132億3,200万ユーロ／50.0%減、2023年第2四半期：29億5,800万ユーロ、2022年第2四半期：30億4,700万ユーロ／2.9%減）。主な影響要因は、前年に比べ税率が上昇し

たことである。前年の BMW Brilliance の完全連結に続き、現在までに保有する BBA 株式の再評価による非課税利益により、税率への影響が緩和された。

自動車部門の主要な財務数値の上昇

自動車部門の上半期の売上高は、628 億 9,800 万ユーロと大幅に増加した（2022 年上半期：567 億 4,100 万ユーロ／10.9%増、2023 年第 2 四半期：316 億 3,000 万ユーロ、2022 年第 2 四半期：300 億 1,500 万ユーロ／5.4%増）。BBA の完全連結に加え、納車台数の増加と製品ミックスの効果も収益を押し上げた。第 2 四半期は、為替変動の逆風、原材料費の上昇、保証費用の増加がすべてマイナスの影響を及ぼした。

上半期の決算前利益（EBIT）は 66 億 7,500 万ユーロに達した（2022 年上半期：48 億 3,000 万ユーロ／38.2%増、2023 年第 2 四半期：28 億 9,800 万ユーロ、2022 年第 2 四半期：24 億 6,300 万ユーロ／17.7%増）。自動車部門の好調な業績は、EBIT マージンが前年同期比増となる 10.6%を記録したことによって裏付けられた（2022 年：8.5%）。この数値は第 2 四半期では 9.2%となる（2022 年第 2 四半期：8.2%）。

「当社製品に対する継続的な需要と、中核部門の好調な業績は、当社が実行可能な戦略を立てていることの証明です。堅固な財務基盤に基づき、私たちは的を絞ったやり方で電動化を強化しています。当社の BEV に対する旺盛な需要を踏まえ、当社は e-モビリティの世界的な拡大に向けて、当初の計画以上の投資を行っています。持続可能な収益性と卓越した事業運営によって、将来のプロジェクトへの計画的な投資の基盤が確立し、BMW グループの長期的な強化につながります」経営委員会の財務担当メンバーであるヴァルター・メルトルは、このように述べている。

自動車部門の税引前利益の合計は、上半期が 65 億 6,800 万ユーロ（2022 年上半期：129 億 4,600 万ユーロ／49.3%減）、第 2 四半期が 27 億 4,000 万ユーロとなった（2022 年第 2 四半期：25 億 2,600 万ユーロ／8.5%増）。

堅調な収益性により、自動車部門のフリー・キャッシュ・フローは半期ベースで 31 億 4,100 万ユーロとなった（2022 年上半期：77 億 7,000 万ユーロ／59.6%減）。前年の数値には、BMW Brilliance の完全連結による約 50 億ユーロの一時的なプラス効果が含まれる。第 2 四半期は 11 億 6,000 万ユーロとなった（2022 年第 2 四半期：29 億 5,400 万ユーロ／60.7%減）。

第 2 四半期は 11 億 6,000 万ユーロとなった（2022 年第 2 四半期：29 億 5,400 万ユーロ／60.7%減）。世界的な需要の高さから、市場への必要な車両供給を確保するために在庫が増加した。加えて、電動モビリティへの移行に向けた投資の増加がフリー・キャッシュ・フローに影響を与えた。これら 2 つの効果を考慮すると、2023 年通年のフリー・キャッシュフローは 60 億ユーロを上回ると予想される。

自社株買い：BMW AG、株式資本の 3.63%に相当する株式を消却

20 億ユーロを上限とする最初の自社株買いプログラムの終了後、BMW グループは 24,001,001 株の自己株式（普通株式 22,199,529 株および優先株式 1,923,871 株）を取得・消却した。保有株式は、決議時点の株式資本の 3.63%に相当する。2023 年 7 月 3 日に 20 億ユーロを上限とする追加的な自社株買いプログラムが開始され、2025 年 12 月 31 日までに終了する予定である。BMW グループの好調な営業実績は、強固な

バランスシートと健全なフリー・キャッシュ・フローをもたらし、自社株買い活動を継続するための基盤となっている。

ファイナンシャル・サービス部門は好調な業績を達成

BMW グループ・ファイナンシャル・サービスの金融およびリース事業は、2023 年上半期も引き続き激しい競争に直面した。当部門は特に、多くの市場における高金利の継続やインフレに伴う物価上昇など、マクロ経済的要因による影響を被った。

一方、自動車部門の価格上昇と製品ミックスの改善により、報告期間中の 1 台当たりの平均融資額は増加した。リテール顧客との新規契約高は 6 カ月時点で 267 億 9,700 万ユーロであった（2022 年上半期：284 億 4,200 万ユーロ／5.8%減）。

BMW グループの新車のうち、ファイナンシャル・サービス部門がリースまたは融資した車両の割合は、上半期末の時点で 37.5%となった（2022 年上半期：44.4%/6.9%ポイント減）。

ファイナンシャル・サービス部門の税引前利益は、2023 年上半期に 17 億 400 万ユーロを計上した（2022 年上半期：19 億 8,100 万ユーロ／14.0%減、2023 年度第 2 四半期：7 億 5,900 万ユーロ、2022 年度第 2 四半期：9 億 7,400 万ユーロ／22.1%減）。

中古車市場の好況により、リース終了車両の販売による高収益が引き続き保証された。これは、0.15%という一貫して低水準の貸倒率と相まって、同部門の業績にプラスの影響を及ぼした。

モーターサイクル部門、100 周年記念の年に販売台数と利益率で過去最高を記録

モーターサイクル部門は、創業 100 周年の上半期に過去最高を記録した。BMW Motorrad による BMW のモーターサイクルおよびスクーターの合計販売台数は 112,871 台となる（2022 年上半期：107,555 台／4.9%増、2023 年第 2 四半期：64,936 台、2022 年第 2 四半期：60,152 台／8.0%増）。Power Roadster M 1000 R のような新モデルを含む、魅力的な製品ラインナップは、この部門の成長戦略が成功していることを裏付けている。

同部門の好調な業績が、財務上の主要数値の大幅な上昇につながった。売上高は 19 億 2,100 万ユーロに上昇し（2022 年上半期：16 億 6,300 万ユーロ／15.5%増、2023 年第 2 四半期：9 億 8,800 万ユーロ、2022 年第 2 四半期：8 億 6,400 万ユーロ／14.4%増）、同部門の EBIT は 32.8%増の 3 億 1,200 万ユーロとなった（2022 年上半期：2 億 3,500 万ユーロ、2023 年第 2 四半期：1 億 5,800 万ユーロ、2022 年第 2 四半期：1 億 2,700 万ユーロ／24.4%増）。EBIT マージンは 16.2%に改善した（2022 年上半期：14.1%/2.1%ポイント増、2023 年第 2 四半期：16.0%、2022 年第 2 四半期：14.7%/1.3%ポイント増）。

BMW グループ、見通しを上方修正

上半期における BMW グループの関連自動車市場の回復に基づき、2023 年通年でも良好な業績が見込まれる。欧州では今年、市場全体が成長すると予測されている。

米国では好調な販売状況が続くと予想され、中国の自動車市場も年内に若干の成長が見込まれる。

先日の特別広告で報告したように、BMW グループは通年のガイダンスを上方修正している。予想される車両在庫の改善、継続的な受注残高の好調さ、そして全体的に良好な販売台数の伸びにより、BMW グループは現

在、世界中の顧客への納車台数が 2023 年も堅調な伸びを示すと計画している。

上記の数量調整と良好な価格状況を考慮した結果、BMW グループは自動車部門の EBIT マージンが通年で 9～10.5%の範囲内に収まるものと予想している（以前は 8～10%）。

BMWグループは、インフレとサプライ・チェーンによるサプライヤーへの経費増が、下半期も引き続き逆風になると予想している。しかし、モーターサイクル部門の販売台数は若干増加すると予想され、EBIT マージンは8~10%の目標範囲内に収まる見通しである。ファイナンシャル・サービス部門の自己資本利益率 (RoE) は16~19%を見込んでいる (以前は14~17%)。グループの税引前利益は大幅な減少が見込まれる。これらの目標は、従業員数が若干増加しても達成されるだろう。ただし、地政学的およびマクロ経済的な状況が大幅に悪化しないことが基本的な前提である。このガイダンスでは、BMWグループの主要販売市場における深刻な景気後退の可能性や、ロシアとウクライナの紛争がさらに激化し、戦火が拡大する可能性は考慮していない。

BMWグループは戦略的な方針を維持している。イノベーションと卓越した経営能力により、世界のプレミアム・セグメントにおける主導的地位を固め、持続可能で収益性の高い成長を推進している。

BMWグループ - 概要2023年上半期		2023年上半期	2022年上半期	変動率(%)
納車台数				
自動車 ¹	台	1,214,864	1,160,094	4.7

内訳: BMW	台	1,071,326	1,016,228	5.4
MINI	台	140,357	140,675	-0.2
ロールス・ロイス	台	3,181	3,191	-0.3
モーターサイクル	台	112,871	107,555	4.9
従業員数 (2022年12月31日時点との比較)		149,475		
自動車部門EBIT率	%	10.6	8.5	24.7%ポイント
モーターサイクル部門EBIT率	%	16.2	14.1	14.9%ポイント
EBTマージン(BMWグループ)²	%	12.6	24.54	-48.6%ポイント
売上高	百万ユーロ	74,072	65,912	12.4
内訳: 自動車	百万ユーロ	62,898	56,741	10.9
モーターサイクル	百万ユーロ	1,921	1,663	15.5
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	17,621	17,251	2.1
その他の事業	百万ユーロ	6	3	-
連結調整	百万ユーロ	-8,374	-9,746	-14.1
支払金利前税引前利益(EBIT)	百万ユーロ	9,718	6,817	42.6
内訳: 自動車	百万ユーロ	6,675	4,830	38.2
モーターサイクル	百万ユーロ	312	235	32.8
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	1,709	1,948	-12.3
その他の事業	百万ユーロ	-5	-174	-97.1
連結調整	百万ユーロ	1,027	-22	-
税引前利益(EBT)	百万ユーロ	9,351	16,156	-42.1
内訳: 自動車	百万ユーロ	6,568	12,946	-49.3
モーターサイクル	百万ユーロ	313	237	32.1
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	1,704	1,981	-14.0
その他の事業	百万ユーロ	117	962	-87.8
連結調整	百万ユーロ	649	30	-
法人税	百万ユーロ	- 2,731	- 2,924	-6.6
純利益	百万ユーロ	6,620	13,232	-50.0
1株当たり利益 (普通株/優先株)	ユーロ	9.70/9.71	19.63/19.64	-50.6

¹ 合併会社 BMW Brilliance Automotive Ltd. (瀋陽) の台数を含む

² グループ売上高に対するグループ税引前利益の比率

BMWグループ - 概要 2023年第2四半期		2023年 第2四半期	2022年 第2四半期	変動率(%)
納車台数				
自動車 ¹	台	626,726	563,187	11.3
内訳: BMW ²	台	553,369	496,432	11.5

MINI ²	台	71,816	65,188	10.2
ロールス・ロイス ²	台	1,541	1,567	-1.7
モーターサイクル	台	64,936	60,152	8.0
従業員数 (2022年12月31日時点との比較)		149,475		
自動車部門EBIT率	%	9.2	8.2	12.2%ポイント
モーターサイクル部門EBIT率	%	16.0	14.7	8.8%ポイント
EBTマージン(BMWグループ)³	%	11.3	11.3	0.0%ポイント
売上高	百万ユーロ	37,219	34,770	7.0
内訳:自動車	百万ユーロ	31,630	30,015	5.4
モーターサイクル	百万ユーロ	988	864	14.4
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	8,795	8,765	0.3
その他の事業	百万ユーロ	3	2	50.0
連結調整	百万ユーロ	-4,197	-4,876	-13.9
支払金利前税引前利益(EBIT)	百万ユーロ	4,343	3,426	26.8
内訳:自動車	百万ユーロ	2,898	2,463	17.7
モーターサイクル	百万ユーロ	158	127	24.4
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	751	982	-23.5
その他の事業	百万ユーロ	-1	-142	-99.3
連結調整	百万ユーロ	577	-4	-
税引前利益(EBT)	百万ユーロ	4,222	3,929	7.5
内訳:自動車	百万ユーロ	2,740	2,526	8.5
モーターサイクル	百万ユーロ	159	128	24.2
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	759	974	-22.1
その他の事業	百万ユーロ	245	277	-11.6
連結調整	百万ユーロ	319	24	-
法人税	百万ユーロ	-1,264	-882	43.3
純利益	百万ユーロ	2,958	3,047	-2.9
1株当たり利益 (普通株/優先株)	ユーロ	4.39/4.40	4.30/4.31	2.1

¹ 合併会社 BMW Brilliance Automotive Ltd. (瀋陽)の台数を含む

² グループ売上高に対するグループ税引前利益の比率

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>